

第 3 回 県立高等学校の在り方検討委員会 検討資料

項 目	検討に当たっての基本的な考え方・視点
県立高等学校について	<p>1 第 3 期教育等の振興に関する施策の大綱及び第 4 期高知県教育振興基本計画の基本理念と基本目標（案）（R5.12 現在） <small>－第 3 回参考資料 1</small></p> <p>（1）基本理念（目指すべき人間像）</p> <p>① 学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく人</p> <p>② 郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人</p> <p>③ 多様な個性や生き方を互いに認め、尊重し、協働し合う人</p> <p>※目指す人間像（基本理念）を実現することで、個人が持続的に幸せを感じ、また、地域や社会もよい状態が続く「ウェルビーイング（Well-being）」の実現にもつながる。</p> <p>（2）基本目標</p> <p>① 確かな学力の育成と、自己の将来とのつながりを見通した学びの展開</p> <p>② 健やかな体の育成と、基本的な生活習慣の定着</p> <p>③ 豊かな心の育成と、多様性・包摂性を尊重する教育の推進</p> <p>2 生徒数の更なる減少に対応した高等学校の在り方と学びの保障</p> <p>3 高等学校を取り巻く環境の変化への対応</p> <p>（1）「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（令和 3 年 1 月中央教育審議会答申） <small>－第 2 回資料 5－3</small></p> <p>①急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力</p> <p>・一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要</p> <p>②2020 年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿</p> <p>・個別最適な学び 指導の個別化と学習の個性化</p> <p>・協働的な学び 個別最適な学びが孤立した学びに陥らないよう、探究的な学習や体験活動等を通じ、子供同士、多様な他者と協働する協働的な学びを充実</p> <p>③「令和の日本型学校教育」の構築に向けた今後の方向性</p> <p>全ての子供たちの知・徳・体を一体的に育むため、これまで日本型学校教育が果たしてきた、</p> <p>・学習機会と学力の保障</p> <p>・社会の形成者としての全人的な発達・成長の保障</p> <p>・安全安心な居場所・セーフティネットとしての身体的、精神的な健康の保障</p> <p>を学校教育の本質的な役割として重視し、継承していく</p> <p>④新時代に対応した高等学校教育等の在り方</p> <p>・高校生の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するための特色化・魅力化 スクール・ミッション再定義、スクール・ポリシー策定 普通科改革、専門学科改革</p> <p>・定時制・通信制課程における多様な学習ニーズへの対応と質保証</p> <p>・STEAM 教育等の教科等横断的な学習の推進による資質・能力の育成</p> <p>（2）高等学校教育の在り方ワーキンググループ中間まとめ（令和 5 年 8 月中央教育審議会） <small>－第 2 回資料 5－2</small></p> <p>①これからの高等学校の在り方に係る基本的な考え方</p> <p>高校教育の実態は地域・学校により非常に多様な状況。質の確保・向上に向けて、</p> <p>・生徒一人一人の個性や実情に応じて多様な可能性を伸ばす「多様性への対応」</p> <p>・全ての生徒が必要な資質・能力を共通して身に付けられるようにする「共通性の確保」を併せて進めることが必要</p> <p>②少子化が加速する地域における高等学校教育の在り方</p> <p>・同時双方向型の遠隔授業やオンデマンド型の学習を可能とする通信教育の活用、学校間連携の推進</p> <p>・少子化が加速する地域の高校の在り方を考える上では、生徒の教育条件の改善という視点が大切。スクール・ミッションを実現できているかどうかや、生徒のニーズ、希望する進路等も踏まえながらスクール・ポリシーを検討し、当該スクール・ポリシーに対応した教育を提供できるよう条件を整備していくことで、生徒が行きたいと思える学校づくり、特色化・魅力化を進め、生徒の学習意欲を高めていくこと</p> <p>・小規模校は配置教職員数が限られるため、地域との協働や他校との連携を行い、生徒が地域に根差した学校で成長できるよう、コミュニティ・スクールの導入やコーディネーター等の専門的な人材配置など、体制・環境を整備</p> <p>③全日制・定時制・通信制の望ましい在り方</p> <p>・いずれの課程でも、いつでも、どこでも、どのようにでも学ぶことが等しく認められるようにするなど、生徒の状況に応じた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現が必要</p> <p>・全日制・定時制において、多様な生徒が現籍校での学びを継続しながら、多様な学びを実現して卒業できるよう、支援の充実、入学者選抜における適切な評価、履修・修得の柔軟な認定、通信教育の活用、学びの多様化学校の設置や校内教育支援センターの設置促進、学校間連携等の促進、ICT 活用の体制・環境整備などを考えていくことが必要</p> <p>・通信制課程に多様な課題を抱える生徒が多く在籍していることを踏まえ、必要な支援体制を整えるとともに、生徒が人間関係を築きながら、自分のよさや可能性を認識し、多様な人々と協働する機会を充実させていくことが重要。公立通信制は生徒数が減少傾向にあるが、特に経済的な面にも課題を抱える生徒にとって重要な教育機関であり、一層の魅力向上・機能強化を図っていく必要</p> <p>（3）高知県中山間地域再興ビジョン（素案）（R5.12 現在 高知県中山間地域再興ビジョン検討委員会）</p> <p>①基本的な考え方 <small>－第 3 回参考資料 2</small></p> <p>・県土の 9 割を占め、県民の 4 割が暮らす中山間地域の再興なくして県勢浮揚はなし得ない</p> <p>・県と市町村が連携し、中山間地域の若者と子どもの人口のこれ以上の減少を食い止め、増加に転じさせることで、人口の若返りを図り、持続可能な人口構造へと転換することが何よりも重要であることから、ビジョンの目指す姿の中心に「若者の人口増加」を掲げ、少子化対策と一体となった新たな中山間対策を推進</p> <p>②10 年後に目指す将来像</p> <p>・地域に若者が増えた持続可能な人口構造のもと、デジタル技術の活用などにより、地域で安心して生活ができる環境が維持され、地域に多様な仕事があり、だれもが将来に希望をもって暮らし続けることができる、活力ある中山間地域</p> <p>③目標値</p> <p>令和 15 年までに、中山間地域のすべての市町村において</p> <p>・若者のうち、減少、流出の著しい 34 歳以下の人口について、令和 4 年よりも増加を目指す</p> <p>・出生数について、令和 4 年よりも増加を目指す</p> <p>＊県内中山間地域の高等学校 10 校における地元高校への進学率 50%以上（R5 入学 31.3%）</p> <p>（4）Society5.0 社会への対応</p> <p>・IoT（Internet of Things）で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出すことで、これらの課題や困難を克服</p> <p>・人工知能（AI）により、必要な情報が必要な時に提供されるようになり、ロボットや自動走行車などの技術で、少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差などの課題を克服</p> <p>・社会の変革（イノベーション）を通じて、これまでの閉塞感を打破し、希望の持てる社会、世代を超えて互いに尊重し合える社会、一人一人が快適で活躍できる社会</p>

項 目	現状と課題 (○：現状、●：課題)																																																					
県立高等学校について	<p>○ 県立高等学校：33校（分校2校を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全日制：31校（うち夜間定時制併置10校（うち通信制併置1校を含む）、併設型中高一貫教育校3校、連携型中高一貫教育校4校） ・定時制多部制：2校（夜間併置2校（うち通信制併置1校を含む）） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>東部</th> <th>中部</th> <th>北部</th> <th>高吾</th> <th>幡多</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3校</td> <td>16校</td> <td>2校</td> <td>5校</td> <td>7校</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・併設型中高一貫教育校（5月1日現在の1年生の生徒数、（ ）内は入学定員） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>高等学校</th> <th>併設中学校</th> <th>H26</th> <th>R1</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東部</td> <td>安芸</td> <td>県立安芸中</td> <td>55(70)</td> <td>59(60)</td> <td>36(60)</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>高知国際</td> <td>県立高知国際中*</td> <td></td> <td>60(60)</td> <td>81(80)</td> </tr> <tr> <td>西部</td> <td>中村</td> <td>県立中村中</td> <td>70(70)</td> <td>64(70)</td> <td>43(60)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 40px;">※夜間学級を除く。県立高知国際中学校はH30に開校。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携型中高一貫教育校（R5年度） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>高等学校</th> <th>連携中学校</th> <th>連携中学校からの進学率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北部</td> <td>嶺北</td> <td>嶺北中、土佐町中</td> <td>53.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高吾</td> <td>四万十</td> <td>大正中、十川中</td> <td>52.0</td> </tr> <tr> <td>構原</td> <td>構原中、東津野中</td> <td>52.4</td> </tr> <tr> <td>幡多</td> <td>清水</td> <td>清水中</td> <td>30.9</td> </tr> </tbody> </table>	東部	中部	北部	高吾	幡多	3校	16校	2校	5校	7校	地域	高等学校	併設中学校	H26	R1	R5	東部	安芸	県立安芸中	55(70)	59(60)	36(60)	中部	高知国際	県立高知国際中*		60(60)	81(80)	西部	中村	県立中村中	70(70)	64(70)	43(60)	地域	高等学校	連携中学校	連携中学校からの進学率(%)	北部	嶺北	嶺北中、土佐町中	53.1	高吾	四万十	大正中、十川中	52.0	構原	構原中、東津野中	52.4	幡多	清水	清水中	30.9
	東部	中部	北部	高吾	幡多																																																	
	3校	16校	2校	5校	7校																																																	
	地域	高等学校	併設中学校	H26	R1	R5																																																
	東部	安芸	県立安芸中	55(70)	59(60)	36(60)																																																
	中部	高知国際	県立高知国際中*		60(60)	81(80)																																																
	西部	中村	県立中村中	70(70)	64(70)	43(60)																																																
	地域	高等学校	連携中学校	連携中学校からの進学率(%)																																																		
	北部	嶺北	嶺北中、土佐町中	53.1																																																		
	高吾	四万十	大正中、十川中	52.0																																																		
構原		構原中、東津野中	52.4																																																			
幡多	清水	清水中	30.9																																																			
○ 中山間地域の学校：10校（定時制昼間部含む） ※前期：7校、後期：3校追加 前期：室戸、嶺北、佐川、窪川、構原、四万十、清水 後期：中芸、吾北分校、西土佐分校																																																						
○ 中山間地域の学校の地元進学者数 R5：31.3% ※中山間地域再興ビジョンにおける目標値（R15年度）50.0%																																																						
○ 全国から生徒を受け入れ可能な学校 R5：9校 R6：13校 R5：9校（室戸、嶺北、吾北、高知海洋、須崎総合造船、構原、四万十、大方、西土佐） R6：13校（上記に加え、山田グローバル探究科・ビジネス探究科、岡豊芸術コース・体育コース、城山、幡多農業）																																																						
○ 高等学校進学者の都市部への集中 高知市及び南国市の県立高校の生徒数割合 63.7% ※R5.5 全日制1年生																																																						
○ 学校の小規模校化 ※令和5年度1年生の実学級数※（R5.5.1現在、（ ）は定時制昼間部）																																																						
<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>学級数</th> <th>東部</th> <th>中部</th> <th>北部</th> <th>高吾</th> <th>幡多</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>(中芸)</td> <td>城山、高岡、高知海洋</td> <td>嶺北、吾北分校</td> <td>佐川、窪川</td> <td>大方、西土佐分校、清水</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>室戸</td> <td>(高知北)</td> <td></td> <td>構原、四万十</td> <td>宿毛</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>伊野商業</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td>山田、高知東工業、春野</td> <td></td> <td></td> <td>幡多農業、宿毛工業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>安芸</td> <td>高知丸の内</td> <td></td> <td>須崎総合</td> <td>中村</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td>高知農業、高知東、高知追手前</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td>高知工業、高知小津、高知国際</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> <td>岡豊</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">※ 実学級数とは、実際に運用している学級数ではなく、40人を1学級として計算したもの。</p>	学級数	東部	中部	北部	高吾	幡多	1	(中芸)	城山、高岡、高知海洋	嶺北、吾北分校	佐川、窪川	大方、西土佐分校、清水	2	室戸	(高知北)		構原、四万十	宿毛	3		伊野商業				4		山田、高知東工業、春野			幡多農業、宿毛工業	5	安芸	高知丸の内		須崎総合	中村	6		高知農業、高知東、高知追手前				7		高知工業、高知小津、高知国際				8		岡豊			
学級数	東部	中部	北部	高吾	幡多																																																	
1	(中芸)	城山、高岡、高知海洋	嶺北、吾北分校	佐川、窪川	大方、西土佐分校、清水																																																	
2	室戸	(高知北)		構原、四万十	宿毛																																																	
3		伊野商業																																																				
4		山田、高知東工業、春野			幡多農業、宿毛工業																																																	
5	安芸	高知丸の内		須崎総合	中村																																																	
6		高知農業、高知東、高知追手前																																																				
7		高知工業、高知小津、高知国際																																																				
8		岡豊																																																				
<p>・1年生の実学級数推移（（ ）は1校当たりの生徒数の平均値）</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>1学級</th> <th>2～3学級</th> <th>4～5学級</th> <th>6～8学級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26.5(36校)</td> <td>7 (26.0)</td> <td>12 (62.9)</td> <td>9 (142.6)</td> <td>8 (245.6)</td> </tr> <tr> <td>R5.5(33校)</td> <td>11 (22.7)</td> <td>6 (56.2)</td> <td>9 (117.2)</td> <td>7 (246.4)</td> </tr> </tbody> </table>		1学級	2～3学級	4～5学級	6～8学級	H26.5(36校)	7 (26.0)	12 (62.9)	9 (142.6)	8 (245.6)	R5.5(33校)	11 (22.7)	6 (56.2)	9 (117.2)	7 (246.4)																																							
	1学級	2～3学級	4～5学級	6～8学級																																																		
H26.5(36校)	7 (26.0)	12 (62.9)	9 (142.6)	8 (245.6)																																																		
R5.5(33校)	11 (22.7)	6 (56.2)	9 (117.2)	7 (246.4)																																																		
○ 不登校生徒数の現状 ※不登校生徒数（国公立私立学校）（人）																																																						
<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校</td> <td>783</td> <td>861</td> <td>1,043</td> <td>994</td> </tr> </tbody> </table>		R1	R2	R3	R4	中学校	783	861	1,043	994																																												
	R1	R2	R3	R4																																																		
中学校	783	861	1,043	994																																																		
○ 現計画において学びのセーフティネットの機能等を備えた学校 5校 中芸・城山・高知北・高岡・大方																																																						
○ 通級による指導実施校 4校 R5：中芸、高知北、城山、大方																																																						
○ 遠隔授業の実施 R2年度から遠隔授業配信センターから授業配信																																																						
<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9校 14講座</td> <td>10校 18講座</td> <td>14校 23講座</td> <td>16校 34講座</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		R2	R3	R4	R5	9校 14講座	10校 18講座	14校 23講座	16校 34講座																																													
	R2	R3	R4	R5																																																		
9校 14講座	10校 18講座	14校 23講座	16校 34講座																																																			
○ 1人1台タブレット端末の整備 （令和3年度完了）																																																						
○ 公立高等学校（全課程）大学進学者数及び就職内定者数（人）																																																						
<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学進学者数</td> <td>1,613</td> <td>1,477</td> <td>1,611</td> <td>1,626</td> </tr> <tr> <td>国公立</td> <td>525</td> <td>561</td> <td>575</td> <td>599</td> </tr> <tr> <td>就職内定者数</td> <td>988</td> <td>932</td> <td>806</td> <td>708</td> </tr> </tbody> </table>		R2	R3	R4	R5	大学進学者数	1,613	1,477	1,611	1,626	国公立	525	561	575	599	就職内定者数	988	932	806	708																																		
	R2	R3	R4	R5																																																		
大学進学者数	1,613	1,477	1,611	1,626																																																		
国公立	525	561	575	599																																																		
就職内定者数	988	932	806	708																																																		
● 今後さらに小規模校化が進むことへの対応 県立高等学校へ入学する生徒数の将来推計では、年々生徒数が減少し、R18にはR5から約1,300人減少する見込み。 ※県立高等学校へ入学する生徒数（全日制・定時制昼間部）の将来推計（H30からR4の平均進学率から推定）																																																						
<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>地 域</th> <th>R5</th> <th>R10</th> <th>R14</th> <th>R18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東部</td> <td>183</td> <td>140</td> <td>96</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>2,440</td> <td>2,169</td> <td>1,857</td> <td>1,481</td> </tr> <tr> <td>北部</td> <td>38</td> <td>38</td> <td>28</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>高吾</td> <td>251</td> <td>230</td> <td>186</td> <td>161</td> </tr> <tr> <td>幡多</td> <td>455</td> <td>416</td> <td>380</td> <td>268</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">・入学者が都市部に集中し、他地域の生徒数が減っている。</p>	地 域	R5	R10	R14	R18	東部	183	140	96	84	中部	2,440	2,169	1,857	1,481	北部	38	38	28	24	高吾	251	230	186	161	幡多	455	416	380	268																								
地 域	R5	R10	R14	R18																																																		
東部	183	140	96	84																																																		
中部	2,440	2,169	1,857	1,481																																																		
北部	38	38	28	24																																																		
高吾	251	230	186	161																																																		
幡多	455	416	380	268																																																		
● 不登校生徒等への対応や、多様な学びへのニーズへの対応																																																						
● Society 5.0 社会への対応（デジタル化、グローバル化）																																																						
● 中学生や保護者等への魅力の発信について																																																						

項目		現状と課題 (○：現状、●：課題)				
県立高等学校について	全日制課程について	○ 全日制高等学校：31校 (うち併設型中高一貫教育校3校、連携型中高一貫教育校4校)				
		東部	中部	北部	高吾	幡多
		2校	15校	2校	5校	7校
		○ 公立私立高等学校全日制の生徒数にみる各学科の割合 (R5年度高校1年生) (%)				
		学科	普通科	産業系専門学科	産業系専門学科以外の専門学科	総合学科
		高知県	64.3	24.8	2.3	8.5
		全国	74.0	17.1	3.7	5.2
		※端数処理のため、100%にならないことがある。				
		○ 現計画の適正規模・最低規模等の要件を満たしていない学校がある				
		適正規模：1学年4～8学級				
		最低規模：全日制1学年2学級以上				
		全日制1学年1学級(20人)以上※				
		※本校の特例校及び分校：過疎化が著しく、近隣に他の高等学校がない学校 不登校経験者や発達障害のある生徒等にも柔軟な対応ができる支援体制を備えた学校				
		<ul style="list-style-type: none"> 最低規模を下回る学校 城山、嶺北、吾北分校、高岡、高知海洋、佐川、窪川、大方、西土佐分校、清水 特例校規模(1学年20人)を下回る学校 吾北分校、西土佐分校 本県全日制の適正規模、最低規模に関する考え方 				
						全日制
		本校		分校		
		〈適正規模〉 ・1学年4学級以上(上限8学級)、高知市及びその周辺地域：1学年6学級以上 生徒の個性や進路希望などが多様化する状況に対応し、習熟度別の学習指導や総合選択制を取り入れた教育課程の編成などきめ細かい指導ができる体制を確保するため。 また、一定の生徒数の確保が見込まれる高知市及びその周辺地域については、生徒の個性・能力や進路希望等に対応した類型を設けるなど多様な教育課程の編成が可能であり、特別活動や部活動においても切磋琢磨し、より活気あふれる学校づくりができる1学年6学級以上の学校規模の維持に努める必要がある。		〈最低規模〉 ・1学年1学級20人以上が少なくとも必要 高等学校としての教育の質を維持していくため。 猶予期間を2年連続して20人を満たない状況となった場合に緩和		
		〈最低規模〉 ・本校の最低規模は1学年2学級以上 高等学校としての教育の質を確保するためには、生徒の多様な学習ニーズに応え、集団活動による社会性の育成を図ることが大切である。 過疎化が著しく近隣に他の高等学校がない学校：1学年1学級以上 不登校や発達障害等柔軟な対応が必要な学校：1学年1学級以上 ※教育の質を維持していくための集団としては少なくとも1学級20人以上が必要。				
		〈本校の最低規模の特例校〉 過疎化が著しく、近隣に他の高等学校がない学校であり、特例として1学年1学級(20人以上)を最低規模とする。 不登校経験者や発達障害のある生徒等にも柔軟な対応ができる支援体制を整えた学校であり、特例として1学年1学級(20人以上)を最低規模とする。		基準としては尊重するが、分校は小規模ということから、本校との連携、分校としての活性化策、地域からの支援を含め、本計画期間中はその取組の成果を検証しながら、基本的に継続する。		

※ 全日制・定時制課程には学年制や単位制がある。県立高等学校では定時制は単位制であるが、全日制は学年制が多い。

学年制：学年ごとに履修すべき科目等を履修し、定められた単位数を修得した場合に次の学年に進むことができる。

単位制：学年による教育課程の区分を設けないため、原級留置(留年)の考えをとらない。一定期間(全日制では3年、定時制通信制では3年以上)在学し、必要な単位の修得などの条件を満たせば、卒業することができる。全日制の一部(室戸、城山、高知東(総合学科)、高知丸の内(普通科)、伊野商業、春野、高岡、大方、宿毛)と定時制・通信制が採用。

項目			現状と課題 (○：現状、●：課題)				検討項目 (◇：論点、◆：前回までのご意見)																																																																																																																																																										
							適正規模・適切配置	魅力化・特色化																																																																																																																																																									
県立高等学校について	全日制課程について	普通科系	普通科系とは、普通科及び専門学科のうち産業系専門学科以外の学科（グローバル探究科、音楽科、理数科、グローバル科）を含む。 ○ 普通科：31校中20校 （うち専門学科を併置している学校6校） 総合学科で普通科系の系列がある学校：4校 ・1年生の生徒数（5月1日現在）				【適切配置】 ◇ 普通科系の配置について 【適正規模】 ◇ 現計画における適正規模・最低規模等の見直しの必要性について 【遠隔教育】 ◆ ICTは、単にコンテンツを配信するだけでなく、他校の生徒と切磋琢磨する環境が作れる。 ◆ ICTの普及により、小規模であっても教育効果をあげられる可能性は十分にあり、従来とは学校規模の考え方が変わってきて良い。																																																																																																																																																										
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>校名</th> <th>学科</th> <th>R5 入学定員</th> <th>H26</th> <th>R1</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">東部</td> <td>安芸</td> <td>普通</td> <td>120</td> <td>(114)</td> <td>(82)</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>嶺北</td> <td>普通</td> <td>80</td> <td>33</td> <td>37</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">北部</td> <td>吾北分校</td> <td>普通</td> <td>40</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>城山</td> <td>普通</td> <td>80</td> <td>45</td> <td>38</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">中部</td> <td rowspan="2">山田</td> <td>普通</td> <td>80</td> <td>(121)</td> <td>(89)</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>グローバル探究</td> <td>80</td> <td></td> <td></td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>岡豊</td> <td>普通</td> <td>320</td> <td>297</td> <td>274</td> <td>277</td> </tr> <tr> <td>高知追手前</td> <td>普通</td> <td>280</td> <td>255</td> <td>265</td> <td>234</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高知丸の内</td> <td>普通</td> <td>150</td> <td>149</td> <td>152</td> <td>147</td> </tr> <tr> <td>音楽</td> <td>30</td> <td>22</td> <td>18</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高知小津</td> <td>普通</td> <td>240</td> <td>221</td> <td>241</td> <td>228</td> </tr> <tr> <td>理数</td> <td>40</td> <td>39</td> <td>40</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高知国際</td> <td>普通</td> <td>200</td> <td></td> <td></td> <td>201</td> </tr> <tr> <td>グローバル</td> <td>80</td> <td></td> <td></td> <td>75</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高岡</td> <td>普通</td> <td>80</td> <td>32</td> <td>30</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>須崎総合(須崎)</td> <td>普通(総合学科)</td> <td>120</td> <td>(103)</td> <td>78</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">高吾</td> <td>佐川</td> <td>普通</td> <td>80</td> <td>48</td> <td>34</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>窪川</td> <td>普通</td> <td>80</td> <td>38</td> <td>27</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>禰原</td> <td>普通</td> <td>80</td> <td>29</td> <td>43</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>四万十</td> <td>普通</td> <td>80</td> <td>23</td> <td>28</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">幡多</td> <td>大方</td> <td>普通(昼間部・普通科)</td> <td>80</td> <td>(55)</td> <td>37</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>中村</td> <td>普通</td> <td>200</td> <td>185</td> <td>166</td> <td>168</td> </tr> <tr> <td>西土佐分校</td> <td>普通</td> <td>40</td> <td>14</td> <td>12</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>清水</td> <td>普通</td> <td>80</td> <td>42</td> <td>41</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table>				地域	校名	学科	R5 入学定員	H26	R1	R5	東部	安芸	普通	120	(114)	(82)	95	嶺北	普通	80	33	37	27	北部	吾北分校	普通	40	15	13	11	城山	普通	80	45	38	25	中部	山田	普通	80	(121)	(89)	61	グローバル探究	80			9	岡豊	普通	320	297	274	277	高知追手前	普通	280	255	265	234	高知丸の内	普通	150	149	152	147	音楽	30	22	18	12	高知小津	普通	240	221	241	228	理数	40	39	40	25	高知国際	普通	200			201	グローバル	80			75	高岡	普通	80	32	30	23	須崎総合(須崎)	普通(総合学科)	120	(103)	78	75	高吾	佐川	普通	80	48	34	37	窪川	普通	80	38	27	22	禰原	普通	80	29	43	42	四万十	普通	80	23	28	25	幡多	大方	普通(昼間部・普通科)	80	(55)	37	36	中村	普通	200	185	166	168	西土佐分校	普通	40	14	12	8		清水	普通	80	42	41	22	【遠隔教育】 ◆ ICTの普及により、小規模であっても教育効果をあげられる可能性は十分にあり、従来とは学校規模の考え方が変わってきて良い。	
			地域	校名	学科	R5 入学定員	H26	R1	R5																																																																																																																																																								
			東部	安芸	普通	120	(114)	(82)	95																																																																																																																																																								
				嶺北	普通	80	33	37	27																																																																																																																																																								
			北部	吾北分校	普通	40	15	13	11																																																																																																																																																								
				城山	普通	80	45	38	25																																																																																																																																																								
			中部	山田	普通	80	(121)	(89)	61																																																																																																																																																								
					グローバル探究	80			9																																																																																																																																																								
				岡豊	普通	320	297	274	277																																																																																																																																																								
高知追手前	普通	280		255	265	234																																																																																																																																																											
高知丸の内	普通	150		149	152	147																																																																																																																																																											
	音楽	30		22	18	12																																																																																																																																																											
高知小津	普通	240		221	241	228																																																																																																																																																											
	理数	40		39	40	25																																																																																																																																																											
高知国際	普通	200				201																																																																																																																																																											
	グローバル	80				75																																																																																																																																																											
高岡	普通	80	32	30	23																																																																																																																																																												
	須崎総合(須崎)	普通(総合学科)	120	(103)	78	75																																																																																																																																																											
高吾	佐川	普通	80	48	34	37																																																																																																																																																											
	窪川	普通	80	38	27	22																																																																																																																																																											
	禰原	普通	80	29	43	42																																																																																																																																																											
	四万十	普通	80	23	28	25																																																																																																																																																											
幡多	大方	普通(昼間部・普通科)	80	(55)	37	36																																																																																																																																																											
	中村	普通	200	185	166	168																																																																																																																																																											
	西土佐分校	普通	40	14	12	8																																																																																																																																																											
	清水	普通	80	42	41	22																																																																																																																																																											
※ 総合学科で普通科系の系列がある学校 室戸高校総合学科：文理総合系列、商工業・芸術系列 高知東高校総合学科：Advanced（文系）・（理系）、Global Communication Skill（国際教養）、Social Skill 文系（保育理美容調理福祉）・理系（医療看護）、Flexible Future（幅広い進路に対応） 春野高校総合学科：人文系列 宿毛高校総合学科：人文・自然系列、教養系列、芸術・スポーツ系列				【現計画の適切な配置の考え方】 卒業後の多様な進路選択の保障と地域を担う人材の育成という観点から、県全体のバランスを考慮した適切な配置に努める。難関大学や医学部等への進学も実現できる進学拠点校を県全体のバランスも考慮しながら配置する。 連携型中高一貫教育校については、地域の学校の状況等も踏まえながら、現在設置されていない地域への配置も検討する。 併設型中高一貫教育校については、東部、中央部、西部の3地域での配置を維持する。																																																																																																																																																													
○ 普通科以外の学科の開設が可能となり、清水高校が学際領域に関する学科改編に向けて検討中				【地域等との連携】 ◆ 高校を地域と一緒にブランディングしていくことが必要。 ◆ 小中学校と地域を巻き込んだ活動が必要。 ◆ 普通科で広く勉強することがあまりメリットになっておらず、普通科の議論も非常に重要。 ◆ 多様性を認めるような新しい学校を創ってもらえたらという意見もある。 【地域みらい留学等】 ◆ 少しずつ高知県をPRしながら、県外からの志願者を増やしてほしい。 【取組の発信】 ◆ 高校の特色を明確にアピールし、保護者に地元の学校の良さを認識してもらうことが必要。 ◆ 日本語の支援や様々な取組の魅力化が必要。 【遠隔教育】 ◆ 子ども達と先生の繋がりを大事にしながら進んでいくと良い。																																																																																																																																																													
○ 小規模校の1コース当たりの生徒数（2年次で選択するコースのみ）																																																																																																																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学級規模*</th> <th>学校数</th> <th>平均コース数</th> <th>1コース当たりの生徒数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9</td> <td>2.8</td> <td>8.4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>				学級規模*	学校数	平均コース数	1コース当たりの生徒数	1	9	2.8	8.4	2	1	3	14																																																																																																																																																		
学級規模*	学校数	平均コース数	1コース当たりの生徒数																																																																																																																																																														
1	9	2.8	8.4																																																																																																																																																														
2	1	3	14																																																																																																																																																														
※学級規模は実学級数で示している。																																																																																																																																																																	
● 生徒数減少に伴う普通科の在り方 ● 特色ある普通科改革の推進 ● 多様な学習ニーズを持つ生徒への対応 ● 各地域の資源を生かした、より特色のある学校の在り方																																																																																																																																																																	

項目			現状と課題 (○：現状、●：課題)				検討項目 (◇：論点、◆：前回までのご意見)																																																																									
							適正規模・適切配置	魅力化・特色化																																																																								
県立高等学校について	全日制課程について	産業系専門学科	<p>○ 産業系専門学科を設置している学校：11校 総合学科で産業系の系列がある学校：4校</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>東部</th> <th>北部・中部</th> <th>高吾</th> <th>幡多</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農業科</td> <td></td> <td>高知農業</td> <td></td> <td>幡多農業</td> </tr> <tr> <td>工業科</td> <td>安芸</td> <td>高知東工業、高知工業</td> <td>須崎総合</td> <td>宿毛工業</td> </tr> <tr> <td>商業科</td> <td>安芸</td> <td>山田、伊野商業</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水産科</td> <td></td> <td>高知海洋</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>看護科</td> <td></td> <td>高知東</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>県立高等学校では、農業・工業・商業・水産・看護に関する学科を設置し、総合学科の系列に福祉系・家庭系を設置</p>					東部	北部・中部	高吾	幡多	農業科		高知農業		幡多農業	工業科	安芸	高知東工業、高知工業	須崎総合	宿毛工業	商業科	安芸	山田、伊野商業			水産科		高知海洋			看護科		高知東			<p>【適切配置】</p> <p>◇ 各地域における産業系専門学科の配置について</p> <p>【適正規模】</p> <p>◇ 現計画における適正規模・最低規模等の見直しの必要性について</p>	<p>◇ デジタル化、グローバル化などこれからの社会への対応について</p> <p>◇ 地域での役割、他の専門科との連携等について</p> <p>◇ 中学生や保護者等への魅力の発信について</p> <p>◇ 高等教育機関との連携について</p> <p>◇ 人種、国籍、障害等に関係なく高校に通える仕組みづくり（インクルーシブ教育）について</p> <p>◇ 産業界等のニーズについて</p>																																										
				東部	北部・中部	高吾	幡多																																																																									
農業科		高知農業		幡多農業																																																																												
工業科	安芸	高知東工業、高知工業	須崎総合	宿毛工業																																																																												
商業科	安芸	山田、伊野商業																																																																														
水産科		高知海洋																																																																														
看護科		高知東																																																																														
<p>農業科 2校 10学科</p> <p>・ 1年生の生徒数（5月1日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>校名</th> <th>学 科</th> <th>R5 入学定員</th> <th>H26</th> <th>R1</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">北部・中部</td> <td rowspan="6">高知農業</td> <td>農業総合</td> <td>40</td> <td>34</td> <td>40</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>畜産総合</td> <td>40</td> <td>27</td> <td>33</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>森林総合</td> <td>40</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>環境土木</td> <td>40</td> <td>15</td> <td>27</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>食品ビジネス</td> <td>40</td> <td>33</td> <td>31</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>生活総合</td> <td>40</td> <td>30</td> <td>35</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">幡多</td> <td rowspan="4">幡多農業</td> <td>園芸システム</td> <td>40</td> <td>36</td> <td>28</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>アグリサイエンス</td> <td>40</td> <td>30</td> <td>29</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>グリーン環境</td> <td>40</td> <td>20</td> <td>19</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>生活コーディネート</td> <td>40</td> <td>37</td> <td>30</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 総合学科で農業系の系列がある学校：春野（園芸系列、食農系列）</p> <p>※ 普通科のうち農業に関するコース等を設置している学校：吾北分校、嶺北、窪川、檜原、四万十</p> <p>・ 進学者の割合及び就職者の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>農業科</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>進学者の割合 (%)</td> <td>59.2</td> <td>61.1</td> <td>66.2</td> <td>70.8</td> </tr> <tr> <td>就職者の割合 (%)</td> <td>35.0</td> <td>36.0</td> <td>32.0</td> <td>24.6</td> </tr> </tbody> </table>			地域	校名	学 科	R5 入学定員	H26	R1	R5	北部・中部	高知農業	農業総合	40	34	40	38	畜産総合	40	27	33	30	森林総合	40	18	20	14	環境土木	40	15	27	19	食品ビジネス	40	33	31	40	生活総合	40	30	35	38	幡多	幡多農業	園芸システム	40	36	28	18	アグリサイエンス	40	30	29	15	グリーン環境	40	20	19	15	生活コーディネート	40	37	30	22	農業科	R1	R2	R3	R4	進学者の割合 (%)	59.2	61.1	66.2	70.8	就職者の割合 (%)	35.0	36.0	32.0	24.6	<p>【現計画の適切な配置の考え方】</p> <p>本県の産業を担う人材の育成及び産業振興のため、現状の学校の配置を維持することに努める。ただし、生徒数の減少等により、現在の配置が維持できない場合には、他の高等学校との統合による複数学科の併置も含め、県全体のバランスを考えた計画的な改編を実施する。</p> <p>産業系高等学校の専門学科や普通科高等学校で産業系科目を設置しているコースにおいては、各校の活性化と教育内容の充実、適切な定員管理の実施に向けて、入学者数の状況や生徒のニーズ、産業構造の変化や就業形態の多様化などの社会環境の変化も見据えたうえで、随時、設置科やコースについての見直しを進める。</p>	<p>【地域等との連携】</p> <p>◆ 県内の産業について興味を持ち、それを目指した子ども達の育成が必要。</p> <p>◆ 県内の産業の充実と日本語の支援等の取組が必要。</p>
地域	校名	学 科	R5 入学定員	H26	R1	R5																																																																										
北部・中部	高知農業	農業総合	40	34	40	38																																																																										
		畜産総合	40	27	33	30																																																																										
		森林総合	40	18	20	14																																																																										
		環境土木	40	15	27	19																																																																										
		食品ビジネス	40	33	31	40																																																																										
		生活総合	40	30	35	38																																																																										
幡多	幡多農業	園芸システム	40	36	28	18																																																																										
		アグリサイエンス	40	30	29	15																																																																										
		グリーン環境	40	20	19	15																																																																										
		生活コーディネート	40	37	30	22																																																																										
農業科	R1	R2	R3	R4																																																																												
進学者の割合 (%)	59.2	61.1	66.2	70.8																																																																												
就職者の割合 (%)	35.0	36.0	32.0	24.6																																																																												

第3回 県立高等学校の在り方検討委員会 検討資料

項目	現状と課題 (○：現状、●：課題)	検討項目 (◇：論点、◆：前回までのご意見)																																																																																																																																																																									
		適正規模・適切配置	魅力化・特色化																																																																																																																																																																								
	<p>工業科 5校 19学科 12専攻</p> <p>・1年生の生徒数(5月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>学校</th> <th>学 科</th> <th>R5 入学定員</th> <th>H26</th> <th>R1</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東部</td> <td>安芸 (安芸桜ヶ丘)</td> <td>機械土木:機械専攻、土木専攻 (環境建設:土木専攻、建築専攻)</td> <td>40</td> <td>(15)</td> <td>(6)</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">北部・中部</td> <td rowspan="4">高知東工業</td> <td>機械</td> <td>40</td> <td>34</td> <td>37</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械生産システム</td> <td>40</td> <td>22</td> <td>9</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>電子</td> <td>40</td> <td>33</td> <td>16</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>電子機械</td> <td>40</td> <td>35</td> <td>18</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">高知工業</td> <td>機械</td> <td>40</td> <td>39</td> <td>37</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>電気</td> <td>40</td> <td>37</td> <td>29</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>情報技術</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>工業化学</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>41</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>土木</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>建築</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>総合デザイン</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>33</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">高吾</td> <td rowspan="3">須崎総合</td> <td>機械系:機械専攻、造船専攻</td> <td>40</td> <td></td> <td>39</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>電気情報系:電気専攻、電子情報専攻</td> <td>40</td> <td></td> <td>31</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>システム工学系:機械制御専攻、住環境専攻</td> <td>40</td> <td></td> <td>22</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">幡多</td> <td rowspan="4">宿毛工業</td> <td>機械:機械専攻、自動車専攻</td> <td>40</td> <td>38</td> <td>20</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>建設:土木専攻、建築専攻</td> <td>40</td> <td>38</td> <td>30</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>電気</td> <td>40</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>情報技術</td> <td>40</td> <td>33</td> <td>36</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 総合学科で工業系の系列がある学校：室戸(商工業・芸術系列)</p> <p>・進学者の割合及び就職者の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工業科</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>進学者の割合(%)</td> <td>35.2</td> <td>34.8</td> <td>36.8</td> <td>37.5</td> </tr> <tr> <td>就職者の割合(%)</td> <td>59.1</td> <td>59.3</td> <td>58.0</td> <td>56.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>商業科 3校 3学科</p> <p>・1年生の生徒数(5月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>学校</th> <th>学 科</th> <th>R5 入学定員</th> <th>H26</th> <th>R1</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東部</td> <td>安芸(安芸桜ヶ丘)</td> <td>ビジネス(情報ビジネス)</td> <td>40</td> <td>(24)</td> <td>(14)</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">北部・中部</td> <td>山田</td> <td>ビジネス探究(商業)</td> <td>40</td> <td>(26)</td> <td>(19)</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>伊野商業</td> <td>キャリアビジネス</td> <td>160</td> <td>134</td> <td>112</td> <td>109</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 総合学科で商業系の系列がある学校： 室戸(商工業・芸術系列)、高知東(Business Skill(情報系))、宿毛(商業系列)</p> <p>※ 普通科のうち商業に関するコース等を設置している学校： 城山、嶺北、岡豊、須崎総合、窪川、檜原、大方</p> <p>・進学者の割合及び就職者の割合(高知商業を含む)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>商業科</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>進学者の割合(%)</td> <td>68.3</td> <td>71.5</td> <td>68.9</td> <td>81.7</td> </tr> <tr> <td>就職者の割合(%)</td> <td>28.3</td> <td>24.9</td> <td>24.1</td> <td>16.1</td> </tr> </tbody> </table>	地域	学校	学 科	R5 入学定員	H26	R1	R5	東部	安芸 (安芸桜ヶ丘)	機械土木:機械専攻、土木専攻 (環境建設:土木専攻、建築専攻)	40	(15)	(6)	10	北部・中部	高知東工業	機械	40	34	37	40	機械生産システム	40	22	9	12	電子	40	33	16	18	電子機械	40	35	18	20	高知工業	機械	40	39	37	39	電気	40	37	29	40	情報技術	40	40	40	36	工業化学	40	40	41	40	土木	40	40	40	40	建築	40	40	40	40	総合デザイン	40	40	33	41	高吾	須崎総合	機械系:機械専攻、造船専攻	40		39	26	電気情報系:電気専攻、電子情報専攻	40		31	8	システム工学系:機械制御専攻、住環境専攻	40		22	16	幡多	宿毛工業	機械:機械専攻、自動車専攻	40	38	20	21	建設:土木専攻、建築専攻	40	38	30	35	電気	40	19	20	6	情報技術	40	33	36	27	工業科	R1	R2	R3	R4	進学者の割合(%)	35.2	34.8	36.8	37.5	就職者の割合(%)	59.1	59.3	58.0	56.0	地域	学校	学 科	R5 入学定員	H26	R1	R5	東部	安芸(安芸桜ヶ丘)	ビジネス(情報ビジネス)	40	(24)	(14)	20	北部・中部	山田	ビジネス探究(商業)	40	(26)	(19)	27	伊野商業	キャリアビジネス	160	134	112	109	商業科	R1	R2	R3	R4	進学者の割合(%)	68.3	71.5	68.9	81.7	就職者の割合(%)	28.3	24.9	24.1	16.1		
地域	学校	学 科	R5 入学定員	H26	R1	R5																																																																																																																																																																					
東部	安芸 (安芸桜ヶ丘)	機械土木:機械専攻、土木専攻 (環境建設:土木専攻、建築専攻)	40	(15)	(6)	10																																																																																																																																																																					
北部・中部	高知東工業	機械	40	34	37	40																																																																																																																																																																					
		機械生産システム	40	22	9	12																																																																																																																																																																					
		電子	40	33	16	18																																																																																																																																																																					
		電子機械	40	35	18	20																																																																																																																																																																					
	高知工業	機械	40	39	37	39																																																																																																																																																																					
		電気	40	37	29	40																																																																																																																																																																					
		情報技術	40	40	40	36																																																																																																																																																																					
		工業化学	40	40	41	40																																																																																																																																																																					
		土木	40	40	40	40																																																																																																																																																																					
		建築	40	40	40	40																																																																																																																																																																					
総合デザイン	40	40	33	41																																																																																																																																																																							
高吾	須崎総合	機械系:機械専攻、造船専攻	40		39	26																																																																																																																																																																					
		電気情報系:電気専攻、電子情報専攻	40		31	8																																																																																																																																																																					
		システム工学系:機械制御専攻、住環境専攻	40		22	16																																																																																																																																																																					
幡多	宿毛工業	機械:機械専攻、自動車専攻	40	38	20	21																																																																																																																																																																					
		建設:土木専攻、建築専攻	40	38	30	35																																																																																																																																																																					
		電気	40	19	20	6																																																																																																																																																																					
		情報技術	40	33	36	27																																																																																																																																																																					
工業科	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																																																							
進学者の割合(%)	35.2	34.8	36.8	37.5																																																																																																																																																																							
就職者の割合(%)	59.1	59.3	58.0	56.0																																																																																																																																																																							
地域	学校	学 科	R5 入学定員	H26	R1	R5																																																																																																																																																																					
東部	安芸(安芸桜ヶ丘)	ビジネス(情報ビジネス)	40	(24)	(14)	20																																																																																																																																																																					
北部・中部	山田	ビジネス探究(商業)	40	(26)	(19)	27																																																																																																																																																																					
	伊野商業	キャリアビジネス	160	134	112	109																																																																																																																																																																					
商業科	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																																																							
進学者の割合(%)	68.3	71.5	68.9	81.7																																																																																																																																																																							
就職者の割合(%)	28.3	24.9	24.1	16.1																																																																																																																																																																							

項目			現状と課題 (○：現状、●：課題)				検討項目 (◇：論点、◆：前回までのご意見)																
							適正規模・適切配置	魅力化・特色化															
県立高等学校について	全日制課程について	産業系専門学科	水産科 1校1学科 ・1年生の生徒数(5月1日現在) <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>学校</th> <th>学科</th> <th>R5 入学定員</th> <th>H26</th> <th>R1</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北部・中部</td> <td>高知海洋</td> <td>海洋</td> <td>80</td> <td>48</td> <td>35</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>					地域	学校	学科	R5 入学定員	H26	R1	R5	北部・中部	高知海洋	海洋	80	48	35	30		
			地域	学校	学科	R5 入学定員	H26	R1	R5														
			北部・中部	高知海洋	海洋	80	48	35	30														
・進学者の割合及び就職者の割合 <table border="1"> <thead> <tr> <th>水産科</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>進学者の割合(%)</td> <td>28.3</td> <td>32.4</td> <td>30.3</td> <td>51.6</td> </tr> <tr> <td>就職者の割合(%)</td> <td>66.0</td> <td>55.9</td> <td>60.6</td> <td>29.0</td> </tr> </tbody> </table>					水産科	R1	R2	R3	R4	進学者の割合(%)	28.3	32.4	30.3	51.6	就職者の割合(%)	66.0	55.9	60.6	29.0				
水産科	R1	R2	R3	R4																			
進学者の割合(%)	28.3	32.4	30.3	51.6																			
就職者の割合(%)	66.0	55.9	60.6	29.0																			
看護科 1校1学科 ・1年生の生徒数(5月1日現在) <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>学校</th> <th>学科</th> <th>R5 入学定員</th> <th>H26</th> <th>R1</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北部・中部</td> <td>高知東</td> <td>看護</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>22</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> ・看護科は、看護専攻科(2年間)を合わせた5年一貫教育を行っている。					地域	学校	学科	R5 入学定員	H26	R1	R5	北部・中部	高知東	看護	30	30	22	30					
地域	学校	学科	R5 入学定員	H26	R1	R5																	
北部・中部	高知東	看護	30	30	22	30																	
福祉系・家庭系 ※ 総合学科で福祉系・家庭系の系列がある学校： 室戸(生活福祉系列)、春野(生活クリエイト系列)、宿毛(保育・福祉系列) ※ 普通科のうち福祉・家庭に関するコースを設置している学校： 城山、岡豊、吾北分校、須崎総合、構原																							
<ul style="list-style-type: none"> ● 生徒数減少に伴う専門学科の在り方 ● 生徒のニーズ、これからの社会を踏まえた専門学科改革への対応 ● 多様な学習ニーズを持つ生徒への対応 ● 県産業振興計画に基づいた産業系専門学科の在り方 <ul style="list-style-type: none"> ・企業との連携による県内担い手人材の育成 																							

項目			現状と課題 (○：現状、●：課題)				検討項目 (◇：論点、◆：前回までのご意見)		
							適正規模・適切配置	魅力化・特色化	
県立高等学校について	全日制課程について	総合学科	○ 総合学科：4校（東部1校、中部2校、西部1校）				<p>【適切配置】</p> <p>◇ 各地域における総合学科の配置について</p> <p>【適正規模】</p> <p>◇ 現計画における適正規模・最低規模等の見直しの必要性について</p>	<p>◇ デジタル化、グローバル化などこれからの社会への対応について</p> <p>◇ 中学生や保護者等への魅力の発信について</p> <p>◇ 人種、国籍、障害等に関係なく高校に通える仕組みづくり（インクルーシブ教育）について</p> <p>【取組の発信】</p> <p>◆ 高校の特色を明確にアピールし、保護者に地元の学校の良さを認識してもらうことが必要。</p> <p>◆ 日本語の支援や様々な取組の魅力化が必要。</p>	
			・ 1年生の生徒数（5月1日現在）及び系列						<p>【現計画の適切な配置の考え方】</p> <p>総合学科は、生徒が興味関心に応じて系列を選択することで多様な進路希望に対応できるという特色を生かすために、現在の各地域での配置を維持することに努める。</p> <p>ただし、生徒数の減少等により、学校によって複数の系列を置くことが困難な場合には、生徒数や地域の状況も踏まえつつ必要に応じて普通科への改編も検討する。</p>
			地域	学校	R5 入学定員	H26			
東部	室戸	80	52	34	49	①文理総合、②商工業・芸術、③生活福祉			
中部	高知東	200	195	195	200	①Advanced(文系) ②Advanced(理系) ③Business Skill(情報系) ④Global Communication Skill(国際教養) ⑤Social Skill 文系(保育理美容調理福祉) ⑥Social Skill 理系(医療看護) ⑦Flexible Future(幅広い進路に対応)			
	春野	160	160	121	132	①園芸、②食農、③生活クリエイト、④人文			
西部	宿毛	120	92	86	62	①人文・自然、②教養、③保育・福祉、④商業、⑤芸術・スポーツ			
			● 総合学科はどのような内容で、どのような取り組みをしているのかが見えにくい						
			● 多様な学習ニーズを持つ生徒への対応						
			● 生徒数の減少に伴い、多くの系列を維持することが困難となる中での総合学科の在り方						

※ 総合学科

- ・ 普通教育と専門教育の選択。生徒自身の興味・関心や進路の方向に沿った科目履修ができる。
- ・ 科目群としてまとめたものを系列という（人文系列、園芸系列等）。
- ・ 単位制による課程とすることが原則。
- ・ 「産業社会と人間」の科目を全ての生徒が履修する必要がある。

項目	現状と課題 (○：現状、●：課題)	検討項目 (◇：論点、◆：前回までのご意見)																																																																																																							
		適正規模・適切配置	魅力化・特色化																																																																																																						
県立高等学校について 定時制課程について	<p>○ 定時制：12校（うち多部制（昼間部・夜間部）2校）</p> <p>・全校の在籍者数（5月1日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>学校</th> <th>学科</th> <th>R5 入学定員</th> <th>H26</th> <th>R1</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">東部</td> <td rowspan="2">室戸</td> <td>普通科</td> <td>40</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>昼間部普通科</td> <td>40</td> <td>57</td> <td>48</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>夜間部普通科</td> <td>40</td> <td>11</td> <td>18</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">中部</td> <td rowspan="2">山田</td> <td>普通科</td> <td>40</td> <td>41</td> <td>20</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>高知東工業</td> <td>機械科</td> <td>40</td> <td>36</td> <td>27</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">高知工業</td> <td>機械科</td> <td>40</td> <td>31</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>電気科</td> <td>40</td> <td>20</td> <td>13</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>土木科</td> <td>40</td> <td>22</td> <td>15</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高知北</td> <td>昼間部普通科</td> <td>80</td> <td>245</td> <td>234</td> <td>163</td> </tr> <tr> <td>夜間部普通科</td> <td>40</td> <td>127</td> <td>64</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高岡</td> <td>普通科</td> <td>40</td> <td>27</td> <td>21</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>須崎総合</td> <td>普通科</td> <td>40</td> <td>27</td> <td>18</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高吾</td> <td>佐川</td> <td>普通科</td> <td>40</td> <td>24</td> <td>18</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>大方</td> <td>普通科</td> <td>40</td> <td>25</td> <td>10</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">幡多</td> <td>宿毛</td> <td>普通科</td> <td>40</td> <td>51</td> <td>16</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>清水</td> <td>普通科</td> <td>40</td> <td>17</td> <td>15</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	地域	学校	学科	R5 入学定員	H26	R1	R5	東部	室戸	普通科	40	12	16	8	昼間部普通科	40	57	48	35	夜間部普通科	40	11	18	20	中部	山田	普通科	40	41	20	22	高知東工業	機械科	40	36	27	12	高知工業	機械科	40	31	8	9	電気科	40	20	13	20	土木科	40	22	15	11	高知北	昼間部普通科	80	245	234	163	夜間部普通科	40	127	64	40	高岡	普通科	40	27	21	16	須崎総合	普通科	40	27	18	19	高吾	佐川	普通科	40	24	18	17	大方	普通科	40	25	10	13	幡多	宿毛	普通科	40	51	16	12	清水	普通科	40	17	15	8	<p>【適切配置】</p> <p>◇ 各地域における定時制高校の配置について</p> <p>◇ 通信制との連携について</p> <p>【適正規模】</p> <p>◇ 現計画における最低規模等の見直しの必要性について</p>	<p>◇ デジタル化、グローバル化などこれからの社会への対応について</p> <p>◇ ICT 機器の効果的な活用方法と、遠隔教育の活用について</p> <p>◇ 学びたい時間を選ぶことのできる3部制等の導入の検討について</p> <p>◇ 転・編入学への柔軟な対応について</p> <p>◇ 通信制や全日制単位制との連携について</p> <p>◇ 人種、国籍、障害等に関係なく高校に通える仕組みづくり（インクルーシブ教育）について</p> <p>【ICT活用等】</p> <p>◆ 定時制・通信制は、高校の学びの最後の砦であり大事である。</p> <p>◆ ICTを活用し、学びやすい環境をつくるべきである。</p> <p>◆ ICTの画面へ出るだけでも難しい子どももいる。単にICTで繋がるだけではなく、気持ちと気持ちが繋がる人と繋がっていききたい生徒もいる。</p>
	地域	学校	学科	R5 入学定員	H26	R1	R5																																																																																																		
	東部	室戸	普通科	40	12	16	8																																																																																																		
			昼間部普通科	40	57	48	35																																																																																																		
		夜間部普通科	40	11	18	20																																																																																																			
	中部	山田	普通科	40	41	20	22																																																																																																		
			高知東工業	機械科	40	36	27	12																																																																																																	
		高知工業	機械科	40	31	8	9																																																																																																		
			電気科	40	20	13	20																																																																																																		
			土木科	40	22	15	11																																																																																																		
高知北		昼間部普通科	80	245	234	163																																																																																																			
		夜間部普通科	40	127	64	40																																																																																																			
高岡	普通科	40	27	21	16																																																																																																				
	須崎総合	普通科	40	27	18	19																																																																																																			
高吾	佐川	普通科	40	24	18	17																																																																																																			
	大方	普通科	40	25	10	13																																																																																																			
幡多	宿毛	普通科	40	51	16	12																																																																																																			
	清水	普通科	40	17	15	8																																																																																																			
	<p>○ 現計画の最低規模の要件を満たしていない学校がある</p> <p>最低規模を下回る学校（夜間課程）：室戸、高知東工業、高岡、須崎総合、佐川、大方、宿毛、清水</p> <p>・本県定時制の最低規模に関する考え方</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">H26 再編振興計画</td> <td> 〈夜間の最低規模〉 ・学校全体の生徒数 20人以上 様々な学びを保障するため、1学年1学級 10人程度以上から緩和し学校の維持に努める。 </td> </tr> <tr> <td> 〈昼間の最低規模〉 ・1学年1学級 20人以上 不登校や中途退学を経験した生徒、発達障害のある生徒等に柔軟に対応できる支援体制の特徴を生かしながら、高等学校としての教育の質を保证するため。 </td> </tr> <tr> <td>H30 再編振興計画後期実施計画</td> <td> 規模よりも、働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴の生徒にとっての学びのセーフティネットとしての側面を重視する必要がある。 よって、「学校全体の生徒数が20人以上」としている最低規模の基準については、望ましい数字ではあるが、この数にこだわることなく、地域にとって必要な定時制は、維持すべきである。 なお、維持する手法として、ICTを活用した社会性の育成など、新たな学びの在り方について工夫する必要がある。 現状、最低規模を下回っている定時制は複数あるが、大きく20名を下回っている学校はないことから、本計画期間中は、基本的に継続する。 </td> </tr> </table>	H26 再編振興計画	〈夜間の最低規模〉 ・学校全体の生徒数 20人以上 様々な学びを保障するため、1学年1学級 10人程度以上から緩和し学校の維持に努める。	〈昼間の最低規模〉 ・1学年1学級 20人以上 不登校や中途退学を経験した生徒、発達障害のある生徒等に柔軟に対応できる支援体制の特徴を生かしながら、高等学校としての教育の質を保证するため。	H30 再編振興計画後期実施計画	規模よりも、働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴の生徒にとっての学びのセーフティネットとしての側面を重視する必要がある。 よって、「学校全体の生徒数が20人以上」としている最低規模の基準については、望ましい数字ではあるが、この数にこだわることなく、地域にとって必要な定時制は、維持すべきである。 なお、維持する手法として、ICTを活用した社会性の育成など、新たな学びの在り方について工夫する必要がある。 現状、最低規模を下回っている定時制は複数あるが、大きく20名を下回っている学校はないことから、本計画期間中は、基本的に継続する。	<p>【現計画の適切な配置の考え方】</p> <p>定時制は、働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴の生徒に柔軟に対応するため各地域での定時制課程の配置に努める。ただし、生徒数の減少に伴い統廃合を検討する場合には、学校の役割や地域の実態、学科の内容、通学手段も考慮した配置を検討する。多部制単位制は、生徒数の減少によって多部制の機能を十分に果たせない状況になった場合は、その在り方について見直しを検討する。</p>																																																																																																		
H26 再編振興計画	〈夜間の最低規模〉 ・学校全体の生徒数 20人以上 様々な学びを保障するため、1学年1学級 10人程度以上から緩和し学校の維持に努める。																																																																																																								
	〈昼間の最低規模〉 ・1学年1学級 20人以上 不登校や中途退学を経験した生徒、発達障害のある生徒等に柔軟に対応できる支援体制の特徴を生かしながら、高等学校としての教育の質を保证するため。																																																																																																								
H30 再編振興計画後期実施計画	規模よりも、働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴の生徒にとっての学びのセーフティネットとしての側面を重視する必要がある。 よって、「学校全体の生徒数が20人以上」としている最低規模の基準については、望ましい数字ではあるが、この数にこだわることなく、地域にとって必要な定時制は、維持すべきである。 なお、維持する手法として、ICTを活用した社会性の育成など、新たな学びの在り方について工夫する必要がある。 現状、最低規模を下回っている定時制は複数あるが、大きく20名を下回っている学校はないことから、本計画期間中は、基本的に継続する。																																																																																																								
	<p>○ 公立高等学校の定時制夜間部生徒の就労状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒数（人）</td> <td>332</td> <td>320</td> <td>270</td> <td>259</td> <td>263</td> </tr> <tr> <td>有職生徒数（人）</td> <td>230</td> <td>192</td> <td>158</td> <td>144</td> <td>135</td> </tr> <tr> <td>割合（％）</td> <td>69.3</td> <td>60.0</td> <td>58.5</td> <td>55.6</td> <td>51.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>● 生徒数減少に伴う定時制の在り方</p> <p>● 有職生徒数の割合が減少しており、生徒の学習ニーズが多様化している中での定時制の在り方</p>		R1	R2	R3	R4	R5	生徒数（人）	332	320	270	259	263	有職生徒数（人）	230	192	158	144	135	割合（％）	69.3	60.0	58.5	55.6	51.3																																																																																
	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																				
生徒数（人）	332	320	270	259	263																																																																																																				
有職生徒数（人）	230	192	158	144	135																																																																																																				
割合（％）	69.3	60.0	58.5	55.6	51.3																																																																																																				

項目	現状と課題 (○：現状、●：課題)	検討項目 (◇：論点、◆：前回までのご意見)																																																																																							
		適正規模・適切配置	魅力化・特色化																																																																																						
県立高等学校について 通信制課程について	<p>○ 通信制：2校（中部1校、幡多1校） 自学自習によるレポート・添削指導（郵送によるやり取り）、月数回程度のスクーリング（面接指導）、試験等により単位が認定される。 ・全校の在籍者数（5月1日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>学校</th> <th>学科</th> <th>R5 入学定員</th> <th>H26</th> <th>R1</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中部</td> <td>高知北</td> <td>普通科</td> <td>200</td> <td>448</td> <td>350</td> <td>305</td> </tr> <tr> <td>幡多</td> <td>大方</td> <td>普通科</td> <td>100</td> <td>84</td> <td>77</td> <td>77</td> </tr> </tbody> </table> <p>※私立の通信制高校：1校（高知県に本校のある学校のみ）</p>	地域	学校	学科	R5 入学定員	H26	R1	R5	中部	高知北	普通科	200	448	350	305	幡多	大方	普通科	100	84	77	77	<p>【適切配置】</p> <p>◇ 通信制の配置について</p> <p>◇ 定時制との連携について ・サテライト校設置等の検討</p> <p>◇ デジタル化、グローバル化などこれからの社会への対応について</p> <p>◇ ICT 機器の効果的な活用方法と、遠隔教育の通信制への活用について</p> <p>◇ 転・編入学への柔軟な対応について</p> <p>◇ 定時制や全日制単位制との連携について</p> <p>◇ 人種、国籍、障害等に関係なく高校に通える仕組みづくり（インクルーシブ教育）</p> <p>【現計画の適切な配置の考え方】 通信制は、生徒のニーズに対応するため、現在の中央部と西部の2校の配置を維持するとともに、東部のニーズに対応するために通信制と定時制の併修の在り方を検討する。</p> <p>【ICT活用等】</p> <p>◆ 定時制・通信制は、高校の学びの最後の砦であり大事である。</p> <p>◆ ICTを活用し、学びやすい環境をつくるべきである。</p> <p>◆ ICTの画面へ出るだけでも難しい子どももいる。単にICTで繋がるだけでなく、気持ちと気持ちが繋がる人と繋がっていききたい生徒もいる。</p>																																																																		
	地域	学校	学科	R5 入学定員	H26	R1	R5																																																																																		
中部	高知北	普通科	200	448	350	305																																																																																			
幡多	大方	普通科	100	84	77	77																																																																																			
<p>○ 全国的な通信制課程の需要の高まり ・全国の通信制課程に在籍している生徒数（人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>R1</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立</td> <td>71,180</td> <td>56,373</td> <td>57,437</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>112,574</td> <td>141,323</td> <td>207,537</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>183,754</td> <td>197,696</td> <td>264,974</td> </tr> </tbody> </table> <p>・全国の通信制課程の学校数（併置校は全日制・定時制の課程を併置している学校）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">H26</th> <th colspan="3">R1</th> <th colspan="3">R5</th> </tr> <tr> <th>独立校</th> <th>併置校</th> <th>合計</th> <th>独立校</th> <th>併置校</th> <th>合計</th> <th>独立校</th> <th>併置校</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立</td> <td>8</td> <td>69</td> <td>77</td> <td>7</td> <td>71</td> <td>78</td> <td>6</td> <td>72</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>90</td> <td>64</td> <td>154</td> <td>106</td> <td>69</td> <td>175</td> <td>125</td> <td>86</td> <td>211</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>98</td> <td>133</td> <td>231</td> <td>113</td> <td>140</td> <td>253</td> <td>131</td> <td>158</td> <td>289</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 公立高等学校の通信制生徒の就労状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒数（人）</td> <td>427</td> <td>388</td> <td>359</td> <td>370</td> <td>382</td> </tr> <tr> <td>有職生徒数（人）</td> <td>217</td> <td>211</td> <td>175</td> <td>177</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td>割合（％）</td> <td>50.8</td> <td>54.4</td> <td>48.7</td> <td>47.8</td> <td>49.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>● 全国的に通信制課程の需要の高まりがあるが、県立高等学校通信制の生徒は増えておらず、県内の生徒を十分に受け入れられていない可能性がある</p> <p>● 多様な学習ニーズを持つ生徒への対応</p>		H26	R1	R5	公立	71,180	56,373	57,437	私立	112,574	141,323	207,537	合計	183,754	197,696	264,974		H26			R1			R5			独立校	併置校	合計	独立校	併置校	合計	独立校	併置校	合計	公立	8	69	77	7	71	78	6	72	78	私立	90	64	154	106	69	175	125	86	211	合計	98	133	231	113	140	253	131	158	289		R1	R2	R3	R4	R5	生徒数（人）	427	388	359	370	382	有職生徒数（人）	217	211	175	177	190	割合（％）	50.8	54.4	48.7	47.8	49.7
	H26	R1	R5																																																																																						
公立	71,180	56,373	57,437																																																																																						
私立	112,574	141,323	207,537																																																																																						
合計	183,754	197,696	264,974																																																																																						
	H26			R1			R5																																																																																		
	独立校	併置校	合計	独立校	併置校	合計	独立校	併置校	合計																																																																																
公立	8	69	77	7	71	78	6	72	78																																																																																
私立	90	64	154	106	69	175	125	86	211																																																																																
合計	98	133	231	113	140	253	131	158	289																																																																																
	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																				
生徒数（人）	427	388	359	370	382																																																																																				
有職生徒数（人）	217	211	175	177	190																																																																																				
割合（％）	50.8	54.4	48.7	47.8	49.7																																																																																				